

第2学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和元年11月29日(金)

場 所 2年A組教室

学 級 第2学年 男16名 女9名 計25名

授業者 小岩洋介、熊谷美保、新沼久美子

1 単元名 住田の魅力発信プロジェクト②「プロジェクトに取り組んでみて…」

2 単元について

大単元「すみたの魅力発信プロジェクト」※¹のねらいは、住田町の魅力※²を発信する活動を通して、生徒の地域社会に対する社会参画意識を高めたり、地域に貢献しようとする姿勢を高めたりすることである。本単元「プロジェクトに取り組んでみて…」は、大単元の最終単元にあたる。本単元では、プロジェクトについてのまとめ※³や振り返り※⁴を通して、「住田町にも様々な魅力がある」といった考えを深めたり、「来年度も今年の学びを活かして、プロジェクト達成に向けて再び取り組みたい」といった気持ちを高めたりすることをねらいに置きたい。以下、「題材」「生徒の実態」「指導にあたって」の特徴について紹介する。

(1) 題材について

大単元「すみたの魅力発信プロジェクト」で取り扱う題材は、住田町の魅力である。なお、住田町の魅力については、オリエンテーションの際に、生徒と教員とで共有した「住田町にしかないもの」「他の地域と比べてみて、住田町に多くあるもの」として位置づけている。

生徒達は、これまでの活動を通して、住田町の魅力を発信するために、町内の方からのアドバイスを受けながら、グループに分かれ「地域の野菜を利用したお菓子作り」「町内産の木材を利用した物作り」、「地域内外の若者を対象とした観光地や特産品を描いたポスター、カレンダー作り」といった作品の制作※⁵に取り組んできた。作品作りや町内の方との交流は、第一ステージから第三ステージまで学んできたことを活かしつつ、経験を伴いながら住田町の魅力について改めて考える機会になった※⁶。

本単元は、各グループで得てきた住田町の魅力に関する気づきや考えをレポートとしてまとめ、報告する活動を計画している。活動を通して、生徒達は、「住田の野菜は安全で、野菜本来の味がしっかりしている」「住田の観光地や特産品は知っていたが、より詳しく学ぶことが出来た」といった素材について考えを深めたり、「いただいたアドバイスを次年度に取り入れたい」という次年度への意欲につながる機会としたい。

(2) 生徒について

大単元「すみたの魅力発信プロジェクト」は、住田町の魅力の発信を通して、生徒の地域社会に対する社会参画意識を高め、地域に貢献しようとする姿勢を高めることをねらいとしている。

住田町魅力を調べるために家族や親戚の人にアツモリ草や産業の歴史を聞いたり、社会教育施設に提供されているパンフレットを閲覧したり、学校から地域へと活動の幅を広げる姿がみられた。活動を通して、住田町魅力を再発見する機会になったといえるだろう。

本単元は、大単元の最終段階にあたるため、活動を通して、住田町の地域住民としての自覚を高めたり、生徒の地域社会に対する社会参画意識を高める契機にしたい。なお、本単元では、主な活動として、今年度の取り組みの様子や成果・課題を、生徒や地域住民に発表するプロジェクト報告会を予定している。その特徴を

踏まえ、社会的実践力の中でも、「A地域理解」「B3 提案・発信する力」「C1 伝え合う力」「D3 自己肯定感」といった資質・能力を高められるよう、支援を講じていきたい。

(3) 指導にあたって

題材の特徴と生徒の実態を踏まえ、「A 地域理解」「B3 提案・発信する力」「C1 伝え合う力」「D3 自己肯定観」といった資質・能力の育成に迫るために、それぞれの段階において、以下に示す活動を計画している。

単元の導入部では、単元についての見通しを持つ活動を取り入れる。具体的には、①大単元のテーマ「住田の〇〇をいかして、住田の魅力を発信するプロジェクトを考えよう」を確認する。②報告会のねらい・内容・流れについて共有する。といった活動を取り入れたい。

単元の展開部では、①クラスでのプレ報告会、②全体のプロジェクト報告会に取り組む。

①クラスでのプレ報告会では、来年度に自信を持って住田の魅力を発信するために、それぞれのグループに対する意見交流の場を持つ。支援の手立てとして話し合いの観点を示す。②全体のプロジェクト報告会では、プレ報告会での内容を踏まえた上で、今年度の活動の成果や来年度に向けての課題を発表する場を持つ。発表の際、成果・困っていること等の要点を絞り発表できるように支援を講ずる。

単元の終結部では、①報告会での質疑をフィードバックする活動、②自身の成長を振り返る活動に取り組む。

①報告会での質疑をフィードバックする活動では、プロジェクト反省会を受けて来年度に向けた方向性を具体化するような支援を講ずる。②自身の成長を振り返る活動では 1 年間の活動を振り返って自分ができるようになったところに視点がいくように支援を講ずる。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

育成した資質・能力		資質・能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	○レポートに、新たに・改めて気づいた住田の魅力について、まとめることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○報告会にて、住田の魅力を発信するための自身のグループの成果物を示したり、成果・課題(困っていること)について要点を絞り発表することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○プレ報告会にて、他グループの発表を聞き、住田の魅力を発信するために気付いたこと・考えたことなどについて意見交換をすることができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○振り返りの際に、次年度に向けての方向性をグループでまとめたり自身の成長を振り返ることができる。

(2) 評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	◆レポートに、新たに・改めて気づいた住田の魅力について、まとめようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	◆報告会にて、住田の魅力を発信するために自身のグループの成果物を示したり、今年度の成果や来年度に向けて困っていることなど要点を絞り発表しようとしている。
C 人間関係形成に関わる資質能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	◆プレ報告会にて、他グループの発表を聞き、住田の魅力を発信するために気付いたこと・考えたことなどについて意見交換をしようとしている。
D 自律的活動に関する資質能力	3 ★自己肯定感	【★肯】	◆振り返りの際に、次年度に向けての方向性をグループでまとめたり、自身の成長を振り返ろうとしている。

4 単元の指導計画（本時 第3時／全10時間） ※全体計画については別紙1を参照

月	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
11	課題への気づき・課題設定・現状把握	1 ～ 2	・プロジェクト報告会に向けてこれまで行ってきた活動や成果物をまとめる。	【国語 書くこと】	・A ◎地域理解 ・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
	情報収集	3 (3 ／ 10本時)	・クラスの中でプレ報告会を行い、仲間から助言や感想をもらい、修正点や課題点をもつ。	【国語 話すこと・聞くこと】	

1 2	計画する・見通しを持つ	4	・前時のプレ報告会で仲間にもらった助言や感想をもとに、再び原稿等を修正、加筆する。	【国語 書くこと】	・A ◎地域理解 ・B3 ☆提案・発信する力 (ループリック)
	実施・改善	5 ～ 7	・これまでのプロジェクトの取り組みと来年度への見通し、課題(困っていること)を地域の方々と仲間に発表する。	【国語 話すこと・聞くこと】	
	まとめと振り返り	8 ～ 10	・来年度へ向けてのプロジェクト達成の見通しを持つ。 ・単元を振り返り、自分たちの成長した点を振り返る。	【道徳 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度】	・D1 ★自己肯定感 (振り返り)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・プレ報告会の各グループの発表内容を、「目的にかなっているか・魅力を十分に伝えられているか・計画に無理がないか」の観点から判断し、改善点等を指摘することができる。【C1 人間関係形成に関する評価 ☆伝え合う力】

(2) 評価について(チェック項目)

みとる資質・能力	項目	支援の手立て
A ◎地域理解 C1 ☆伝え合う力	<ul style="list-style-type: none"> ・他グループの発表を聞き、 ①プロジェクトの取り組みが目的にかなっていたか？ ②リソースの魅力を活かしきれていたか？ ③本当に実現可能な計画になっていたか？ <p>の3つの観点のいずれかに対して自分の考えや意見等を書き留めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表を聞く時の3つの視点を具体化し、黒板に掲示等行い、全体で共有する。 ・発表を聞いての振り返り、メモを取る時間を保障する。

(3) 展開

階	学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>1 大単元のテーマの確認</p> <p>テーマ「住田の〇〇をいかし、住田の魅力を高めるプロジェクトを考えよう」を示し、大単元の目的について確認する。</p> <p>2 「学習課題」の設定</p> <p>前時の活動を踏まえて、「学習課題」を、生徒が提案する。</p>	<p>・「住田の魅力を発信すること」に重点を置いていることを、改めて教員と生徒で確認する。</p> <p>・事前に振り返りシートを返却し、「学習課題」についての見通しを抱かせる。</p>
	<div>学習課題 プレ報告会を行おう。</div>	
展開 35分	<p>3 活動の見通しの共有</p> <p>発表会の進め方と伝える・聞く観点を生徒と確認する。</p> <p>プリントの使い方を確認する。</p> <p>4 プレ発表会</p> <p>① 前に出てグループが発表する。</p> <p>② メモをとる。</p> <p>③ 聞き手が質問や感想を伝える。</p> <p>④ グループが答える。</p>	<p>・「これまでの活動を具体的に報告しているか」「助言をもらうポイントがあるか」「来年度に向けての課題」を意識した発表と質問をすることを確認する。</p> <p>・観点及び、発表会の流れについては板書し共有を図る。</p>
まとめ 10分	<p>5 振り返り</p> <p>振り返りシートを記入する。</p> <p>6 次時の学習の確認</p> <p>振り返りの内容を踏まえ、次時に取り組みたいことを提案する。</p>	<p>・本時に取り組んだ内容を踏まえ、振り返りシートの「今日の活動」「成果」「課題」「続けたいこと」「改善したいこと」「次回取り組みたいこと」「その他」等を記入するように促す。</p>

【註】

- ※1 「すみのたの魅力発信プロジェクト」…住田町立世田米中学校の第二～三学年の地域創造学にて、重点的に取り組んでいる学習活動。大単元は全52時間で、「オリエンテーション（1時間）」、「住田の魅力とは…（9時間）」、「プロジェクト実現に向けての計画をたてよう！（12時間）」、「プロジェクト実現に向けて行動しよう！（20時間）」、「まとめと振り返り（10時間）」からなる。
- ※2 住田町の魅力…「オリエンテーション（1時間）」にて、生徒と「他の地域には無いもの」「住田町にしかないもの」「他の地域と比べて、住田町に特に多くあるもの・見えるもの」として共有を図った。
- ※3 まとめ…プロジェクトの経過や、成果・課題を、書面にまとめたり口頭で報告したりすること。
- ※4 振り返り…プロジェクトを通して、町に対する気持ちや、自身の成長について気づいたこと・考えたことなどを、書面に記したり、口頭で発表したりすること。
- ※5 作品の製作…2年A組では、住田の名産や観光地が描かれたカレンダーやポスター、町内で収穫される野菜を材料としたお菓子、気仙杉を材料とした日用品やスポーツに関わるものなどが作成された。
- ※6 新たな・改めての気づき…振り返り用紙に、「町内で作られているイチゴが他地域のイチゴと比べて～～ことが初めてわかった。

